



令和 2 年 1 月 14 日

関係者 各位

一般財団法人  
日本モーターサイクルスポーツ協会

全日本選手権 J-GP3 クラス 「J-GP3 チャレンジクラス」 「J-GP3 特別参戦枠」

に関する追加の事項のおしらせ

2020 年全日本ロードレース選手権 GP3 クラス内に若手育成を目的とするクラスを新設します。全日本 J-GP3 クラスは、現行の J-GP3 クラスに加え、若手育成クラスとして「J-GP3 チャレンジ」さらに、「GP3 特別参加枠」の構成として、若手選手がベテラン選手と実践を通してスキルアップを行い、海外で活躍できる選手を育成するプログラムになります。

特典には、新たな施策が追加されました。(赤字部分)

1. チャレンジクラスで全日本選手権オートポリス大会時点でのランキング 1 位の選手は 2021 年 IDEMITSU アジアタレントカップの年間出場選手に推薦されます。  
ただし、アジアタレントカップの年間参戦経験者は除く。 <追加>
2. アジアタレントカップ MFJ 推薦枠 (新規)  
J-GP3 チャレンジクラスおよび特別参戦枠参戦者のうち、全日本選手権第 2 戦から第 6 戦および鈴鹿選手権第 2 戦 (5 月 16-17 日) のうち 3 大会 (異なるサーキットの大会) 以上参加した者から最大 2 名をアジアタレントカップに推薦する場合がある。
3. J-GP3 特別参戦枠の参加基準の見直し  
現状の参加する当該施設のコースレコードの 105%が参加条件としているが、参加者が参加しやすい環境を与えるために、以下の優先順位を設定する。  
各大会特別参戦枠の参加定員は 10 名までとする。  
優先順位 1. 当該施設のコースレコードの 105%以内  
優先順位 2. 筑波、鈴鹿 (フルコース)、もてぎ (フルコース) のコースレコード 105% 以内の実績者は、他大会の参戦申請することができる。  
優先順位は、優先順位 1 を優先し、空きの参戦枠が生じた場合、優先順位 2 を採択する。